

島中雄二

（しゅうちゆう）

社會運動家。

明治十四年二月十八日奈良縣生れ、昭

和十五年九月十六日歿（一八八一—一九〇〇）。號翠湖。東京法學院中退。文

化學會、フエビヤン協會等を興し、社會民衆黨、社會大衆黨結成に參

加。中央公論社二代自任社長嶋中雄作の兄。

譯著書、シヨン・スバルゴ一著「社會主義と宗教」(譯、大正九年九

月二十日文化學會出版部「社會文化叢書」)、（註）「（破）誌」(謝氏南征記) (細井

肇共譯、大正十年四月一日京城・自由討究社「通俗朝鮮文庫」)、（九）朋

黨上綱の檢討（註）「（夢）」(譯、大正十年五月一日自由討究社「通俗朝鮮文庫」)、

William McLorn著「直接行動論」(譯、大正十一年二月一日文化學會

出版部「文化學會パンフレット」)、（註）「煙草御遠慮—法律と權力とい

關する一考察」(大正十五年二月二十日啓明會本部「啓明パンフレッ

ト」)、（註）「日本無産階級は滿蒙問題さどう見る」(片山哲著、昭

和六年十一月十日先進社)等。